

公益財団法人京都市男女共同参画推進協会

第1 法人の概要

1 代表者

理事長 稲葉カヨ

2 所在地

京都市中京区東洞院通六角下る御射山町 262 番地 京都市男女共同参画センター内

3 電話番号

075-212-7490

4 ホームページアドレス

<http://www.wings-kyoto.jp/> (京都市男女共同参画センター)

5 設立年月日

平成5年5月24日

6 基本財産

50,000千円(うち本市出せん額 50,000千円, 出せん率 100.0%)

7 事業目的

男女の自立と社会のあらゆる分野の活動への対等な参画を促進するため、市民の主体的な活動を喚起しながら必要な事業を展開し、男女が個人として尊重され、その能力が発揮できる、男女共同参画の理念の息づく都市、京都の実現に寄与すること。

8 業務内容

- (1) 男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供
- (2) 男女共同参画社会の形成のための調査及び研究
- (3) 男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援
- (4) 男女共同参画に関する相談
- (5) 男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進
- (6) 男女共同参画に関する施設の管理運営
- (7) その他前項の目的を達成するために必要な事業

9 所管部局

文化市民局共同参画社会推進部男女共同参画推進課 (TEL075-222-3091)

10 役員名等

(1) 理事長

稲葉カヨ

(2) 専務理事

指宿達也

(3) 理事

今井まゆり, 大里茂美, 加藤千恵, 川端美智子, 佐野恭子, 清水智子, 福田真子, 藤田晶子, 水口重忠, 佐原啓也 (文化市民局共同参画社会推進部男女共同参画推進課長)

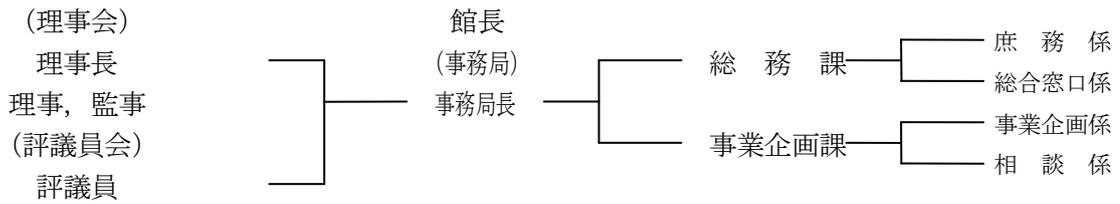
(4) 監事

寺西章郎, 村上博保, 川端昌和 (文化市民局共同参画社会推進部長)

11 常勤職員数

7人(うち本市派遣職員0人)

12 組織機構



第2 経営状況

1 平成 29 年度決算

(1) 事業報告

ア 男女共同参画に関する情報及び資料の収集, 保存及び提供

(ア) 図書資料の収集と提供

(イ) 情報発信事業

a インターネットでの情報発信 (ホームページ, メールマガジン, Twitter, Facebook 等)

b 啓発誌・講座案内の発行

イ 男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報, 啓発及び学習支援

(ア) 真のワーク・ライフ・バランス推進事業

a 男性の家事・育児参画講座

b 両立支援事業

(イ) 企業・地域への男女共同参画推進事業

a みんなで考える男女共同参画講座

b 理系女子応援セミナー

c 京で輝く! 女性活躍推進プロジェクト

(ウ) 教養・健康増進事業

運動実技講座・うた講座・その他教養講座

(エ) 保育事業

事業参加者の保育・施設利用者の保育・親子のふれあい広場

ウ 男女共同参画に関する相談

(ア) 相談業務

一般相談・専門相談

(イ) 相談事業

a DV 被害当事者のための自立支援事業

b 大学相談室派遣事業

(ウ) 関係機関連携/京都市男女共同参画苦情・要望等処理制度の受付

エ 男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進

(ア) 地域コミュニティ活性化の促進事業

a 京都市男女共同参画市民会議 (ウィングス・フォーラム)

b センター利用者や地域との協働事業

c ピンクリボン活動啓発事業

d 中京区民ふれあい人権講演会

(イ) ドメスティック・バイオレンス対策事業

a DV・性暴力被害者支援講座

b DV 予防講座

c インストラクター及びサポーター活用事業

d パープルリボンの取組他

e DV 防止啓発講座

- f 写真展 PROJECT STAND
- (ウ) 人材・団体育成事業
 - a 市民活動サポート事業
 - b 女性の防災リーダー育成事業
 - c 共催・後援事業／講座受講生のグループ育成
 - d 相談員養成講座
- (エ) 目的利用団体に対する施設管理業務
- オ 目的利用団体以外への施設管理業務
- カ 公益財団法人の経営管理，組織・人事管理，財務運営

(2) 財務諸表

貸借対照表
平成30年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	115,275	102,652	12,623
未収入金	2,711	2,270	441
前払金	36	44	△8
立替金	370	787	△417
流動資産合計	[118,393]	[105,753]	[12,640]
2. 固定資産			
(基本財産)			
定期預金	20,000	20,000	0
投資有価証券	30,000	30,000	0
基本財産合計	(50,000)	(50,000)	(0)
(特定資産)			
退職給付引当資産	54,622	54,493	129
特定費用準備資金	9,680	4,270	5,410
特定資産取得資金	8,458	8,458	0
特定資産合計	(72,760)	(67,221)	(5,539)
(その他固定資産)			
建物附属設備	1,929	2,242	△313
什器備品	910	1,378	△468
ソフトウェア	673	1,480	△807
電話加入権	1,580	1,580	0
出資金	10	10	0
保証金	5	5	0
その他固定資産合計	(5,107)	(6,695)	(△1,588)
固定資産合計	[127,867]	[123,916]	[3,952]
資産合計	246,260	229,668	16,591
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	19,050	15,303	3,746
預り金	2,027	672	1,355
前受金	11,608	9,132	2,476
賞与引当金	4,683	5,094	△411
流動負債合計	[37,367]	[30,201]	[7,166]
2. 固定負債			
退職給付引当金	63,721	62,366	1,355
固定負債合計	[63,721]	[62,366]	[1,355]
負債合計	101,088	92,567	8,521
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	[50,000]	[50,000]	[0]
(うち基本財産への充当額)	(50,000)	(50,000)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[95,172]	[87,101]	[8,070]
(うち特定資産への充当額)	(18,138)	(12,728)	(5,410)
正味財産合計	145,172	137,101	8,070
負債及び正味財産合計	246,260	229,668	16,591

正味財産増減計算書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	245	268	△23
事業収益	217,344	213,374	3,970
受取補助金等	0	479	△479
受取寄付金	35	30	5
雑収益	2,460	2,140	319
経常収益計	220,083	216,291	3,792
(2) 経常費用			
事業費	205,734	208,940	△3,206
管理費	4,397	4,120	277
経常費用計	210,131	213,060	△2,929
当期経常増減額	9,952	3,231	6,721
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
法人税等	1,882	782	1,100
当期一般正味財産増減額	8,070	2,449	5,621
一般正味財産期首残高	87,101	84,652	2,449
一般正味財産期末残高	95,172	87,101	8,070
II. 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	0	△479	479
当期指定正味財産増減額	0	△479	479
指定正味財産期首残高	50,000	50,479	△479
指定正味財産期末残高	50,000	50,000	0
III. 正味財産期末残高	145,172	137,101	8,070

2 平成 30 年度事業計画

(1) 事業計画の概要

- ア 男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供
 - (ア) 図書資料の収集と提供
 - (イ) 情報発信事業
 - a インターネットでの情報発信（ホームページ、メールマガジン、Twitter、Facebook 等）
 - b 啓発誌・講座案内の発行
- イ 男女共同参画社会の形成のための調査及び研究
データブックの作成
- ウ 男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援
 - (ア) 真のワーク・ライフ・バランス推進事業
 - a ジェンダー・カフェ 多様な生き方について考えてみよう！
 - b はじめてのパパの育児講座
 - c 働くママを応援！育休ママの「安心」情報交換会
 - (イ) 企業・地域への男女共同参画推進事業
 - a みんなで考える男女共同参画講座
 - b 理系女子応援セミナー
 - c 大学生と語ろう「性的同意」
 - (ウ) 教養・健康増進事業
運動実技講座・うた講座・その他教養講座
 - (エ) 保育事業
事業参加者の保育・施設利用者の保育・親子のふれあい広場
- エ 男女共同参画に関する相談
 - (ア) 相談業務
一般相談・専門相談
 - (イ) 相談事業
 - a DV 被害当事者のための自立支援事業
 - b 大学相談室派遣事業
 - (ウ) 関係機関連携／京都市男女共同参画苦情・要望等処理制度の受付
- オ 男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進
 - (ア) 地域コミュニティ活性化の促進事業
 - a 京都市男女共同参画市民会議（ウィングス・フォーラム）
 - b センター利用者や地域との協働事業
 - c ピンクリボン活動啓発事業
 - (イ) ドメスティック・バイオレンス対策事業
 - a DV・性暴力被害者支援講座
 - b DV 予防講座
 - c パープルリボンの取組他
 - (ウ) 人材・団体育成事業
 - a 市民活動サポート事業
 - b 女性の防災リーダー育成事業
 - c 共催・後援事業／講座受講生のグループ育成
 - d 相談員養成講座
 - (エ) 目的利用団体に対する施設管理業務
- カ 目的利用団体以外に対する施設管理業務
- キ 公益財団法人の経営管理、組織・人事管理、財務運営

(2) 予算

正味財産増減予算書
平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	250	250	0
事業収益	213,320	212,520	800
雑収益	2,300	2,800	△500
経常収益計	215,870	215,570	300
(2) 経常費用			
事業費	209,631	210,501	△870
管理費	5,939	5,069	870
経常費用計	215,570	215,570	0
当期経常増減額	300	0	300
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	300	0	300
一般正味財産期首残高	59,641	59,641	0
一般正味財産期末残高	59,941	59,641	300
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	50,000	50,000	0
指定正味財産期末残高	50,000	50,000	0
III. 正味財産期末残高	109,941	109,641	300

(参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H27 (決算)	H28 (決算)	H29 (決算)	H30 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	219,927	216,291	220,083	215,870
	当期経常増減額	△11,140	3,231	9,952	300
	当期正味財産増減額	△13,401	1,970	8,070	300
貸借対照表	総資産	225,110	229,668	246,260	
	総負債	89,978	92,567	101,088	
	正味財産	135,131	137,101	145,172	

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H27 (決算)	H28 (決算)	H29 (決算)	H30 (予算)
委託料	男女共同参画センターの管理運営 (指定管理)	180,000	180,000	180,000	180,000
	男性のためのDV 電話相談及びDV 予防講座事業	960	960	960	
	DV 被害者支援インストラクター及びサポーター活用事業	850	100	100	
	「京で輝く！女性活躍推進プロジェクト」		1,882	2,000	
	市民を対象とした図書譲渡会			222	
	写真展 PROJECT STAND 性暴力サバイバー達の素顔			378	

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"> 経費節減及び受託事業の確保等に努めた結果、平成28年度に引続き黒字を確保したことは評価できる。
事業面	<ul style="list-style-type: none"> 相談業務においては、件数が平成28年度と比較して約1割減少しているが、図書情報室を拠点とした情報提供や啓発事業の実施、市民活動の支援等、安定した事業の実施ができている点は評価できる。

2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"> 自主事業の充実、本市以外からの受託事業の確保等の財源多角化の取組に加え、積極的な経費節減により、2期連続で当期正味財産増減額の黒字を確保したことは評価できる。
事業面	<ul style="list-style-type: none"> 相談事業においては、サービスの質の向上に取り組んでいるが、一方で相談件数の確保も重要である。市民への事業の周知や各種啓発事業により、相談件数も増加させることで、より一層、本市における男女共同参画の推進に取り組んでいく必要がある。